

## 第7回 23区消費者団体活動情報交流会 報告

～ざっくばらんに交流しよう！～

# ウィズコロナ時代の新しい活動様式



日時：2021年2月9日（火）  
13:30～15:30

オンライン開催（ZOOM）

参加者：27名

主催：23区消費者団体活動情報交流会  
実行委員会

協賛：東京都消費者月間協賛事業

### 当日のプログラム

13:00～ 開会挨拶  
13:35～ 講演 萩原なつ子氏  
14:25～ 消費者団体からの活動報告  
14:35～ 交流会（ブレイクアウトルーム）  
15:05～ 交流会報告  
15:15～ 質疑応答とまとめ  
15:25～ 閉会挨拶



東京消費者団体  
連絡センター  
小浦 道子さん

開会挨拶：7回目となる今回、参集しての開催が難しく、初めてのオンライン開催となりました。新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、皆様も制約のある中で、いろいろ工夫して活動をしていらっしゃると思います。今日の交流会で知ったこと気づいたことが、各地での新しい活動につながれば良いなと思っています。



司会：日高 元子さん  
東京都生活協同組合  
連合会



## みんなで考えよう！新型コロナ禍を生きる「社会的処方箋」

講師 萩原なつ子氏

立教大学社会学部／立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科教授

新型コロナは私たちにどのような影響を与えたのか、今（消費者団体に）求められている役割は何なのか・・・。自分（団体）の強みを再確認して、安心して暮らせる地域社会づくりに向けて、主体的に関わるには何が出来るのかを、4つのワークとシェアリングエコノミーの視点からお話ししていただきました。講演の中では、「可視化」「弱さの強さ」「ゆるやかなネットワークとノットワーク」「結んで開いて」「ギフトワーク」「ミックス」など、心に響くキーワードが多く、それらについてわかりやすい事例を交えながらお話ししていただきました。まとめとして萩原先生から、「コロナ禍で気持ちが沈みがちな日々、行き詰った時には『歌って、踊って、笑い飛ばす』そして、そこから次を考えることが大事」というメッセージをいただきました。

### 活動報告

#### 「コロナ禍での活動」

- ・中野区消費者団体連絡会  
羽賀 育子さん
- ・中央区消費者友の会  
田中 寛子さん
- ・新宿消費者団体連絡会  
宮崎 冴子さん  
鍋島 照子さん



閉会挨拶：これからの活動の中で、辛いなど思った時にこれでいいんだと思える言葉やヒントを、萩原先生から沢山いただきました。コロナ禍で可視化された、リアルとオンラインの強さと弱さ。私たちが何かをやるうとするときには、リアルとオンラインを適宜ミックスしながら、そして、自分たちが培ってきた知恵と経験とつながりを「シェア」という観点を持ちながら、進めていくことが大切、との言葉が心に残りました。「シェア」するものをたくさん持っているのが消費者団体の強さだと思います。来年もまた、活動した経験をみんなで交流できればと思います。



TOKYO  
消費者行政充実ねっと  
釜井 英法さん

### 参加者アンケートより

- ・今の活動のもやもやを、私自身可視化できた良い機会でした。
- ・異種と交わることの重要さも、今後の活動をすすめる上でより意識していきたいです。
- ・歌も交えて理解しやすい楽しく、新しい知識を頂きとても役立つ講座でした。
- ・午前にも別の講演会に参加しており、オンラインでなければ、午後すぐの講演会参加は無理だったのでありがたかったです。

